TOMIGAYA ELEMENTARY SCHOOL NEWS　令和７年度　１１月号

富谷小だより

渋谷区立
富谷小
学校通信

保護者・地域の皆様と共に　開校 95 周年

校長 石川 亜由美

保護者会/個人面談を終えて

後期が始まってすぐに、通常の学級では保護者会を、いずみ学級では個人面談を行いました。どの学級でも、前期までの子供たちの成長の様子や今後に向けた課題などについて話し合いました。

保護者会が終わった先生たちに、会の様子を尋ねました。各担任の持ち味があり、やり方はそれぞれですが、どの学級でも、学校での子供たちの学習や生活の様子が保護者の皆様に伝わるようにと、様々に工夫していました。写真や動画を映しながらそのときのエピソードを話していた学級もありました。ICTを活用した授業の一端を知っていただけるように、子供たちが授業で使っているアプリを使って意見を交流する場を設けた学級もありました。「シブヤ未来科」について、活動の目的や取組の様子を丁寧に説明している学級もありました。その説明を受けて、協力したいというお声をいただいたといううれしい報告もありました。

また、保護者会は、教職員と保護者、保護者同士が直接対話をすることを通して、互いの理解や信頼関係を深める場でもあります。お題の書かれたサイコロやカードなどを使って、和やかな雰囲気で対話ができたという学級もありました。一つのテーマに対して話し合ったことで、様々な考えや意見を聞き合い、話し合いを深めることができたという学級もありました。子供たちも授業中に友達と考えを話したり聞き合ったりする意見交流の時間を設けていますが、これは、自分と同じ意見や似ている意見だけでなく、異なる意見に触れることで考え方や見方を広げるために行っています。同じことが保護者会でもできたのだと思います。ある学級では、保護者の方が子供同士の間でトラブルが起こるのは当たり前のことだと理解してくださっていて、子供たちの得意なことも苦手なことも受け入れ合い、学校だけでなく保護者のみんなで安心して過ごせる環境をつくり、成長を支えていけるようにしたいという趣旨の話をしてくださり、学級全体がとても温かな雰囲気になったと報告してくれました。この報告を聞いた私も、とても温かな気持ちになりました。

年度初めに「家庭と学校とは子育ての大切なパートナーです」という話をしましたが、保護者会や個人面談等のあらゆる機会を通して、学校や家庭での子供たちの様子を、関わるみんなで共有し、成長や努力、さらなる成長に向けた課題等を認め合い、励まし、支えて合っていくことが、子供たちが安心して自らの力を発揮し、たくましく成長していくためにとても大切です。

今回の保護者会に出席できなかった保護者の皆様も、次回はご都合をつけ、ぜひご出席ください。

10月５日は、ユネスコが制定した「世界教師デー」でした。これを知った保護者の有志の方々が、先生たちに感謝の気持ちを伝えたいと、カスミソウの花をプレゼントしてくださいました。このうれしいサプライズに、先生たちはみな、また頑張ろうという元気をいただきました。

開校 95 周年記念集会・イベント

11月17日の開校記念日に先立ち、12日（水）に集会を、15日（土）にイベントを行います。子供たちが様々なアイディアを出し、6年生を中心に全校で準備を進めていますので、応援をよろしくお願いします。一緒に楽しんでいただける時間もありますので、ぜひご来校ください。